



利南東



令和5年度学校だより
令和5年7月12日
第6号
校長 大竹 敏之

【TONAMIプライド第2章】 **つなぐ** 「ひと」をつなぐ 「学び」をつなぐ

■ 今年の学校評価についてお知らせします ◇ Part1 ◇

令和5年度の最上位目標である「学校教育目標（目指す児童像）」を実現するため、学校全体で取り組む「具体的な目標」とその「方策」をお知らせします。昨年度の取組状況や現時点での子どもたちの様子、教職員の願い等について、全職員で分担ごとにグループを編成し、検討し直しました。保護者の皆様には、すでにメールでお願いしている「学校評価アンケート」へのご協力をよろしくお願ひします。いただいた評価とご意見を基にして、子どもたちのために、よりよい教育活動に改善したいと考えております。以下に今年の具体的な取組を紹介しますのでご確認ください。



班で話し合いました

※赤字は本年度検討して変更や修正をした箇所です。

具体目標1 児童に基礎的・基本的な知識・技能を定着させます

◆方策◆

- ・ねらいを達成した児童の具体的な姿を想定し、学習活動を意図的に設定する。
- ・授業の始めに、めあてを提示し、最後はめあてに沿って振り返らせ、何を、どのように学んだかを自覚させる。
- ・特別支援教育専門アドバイザーの巡回相談等を活用し、学習活動を行う場合に生じる困難さに応じた指導の工夫をする。
- ・高学年は教科担当制を取り入れ、学力の向上を図る。
- ・漢字計算コンテストやスキル学習を行う。



【参考：アンケート評価目安】

〈児・保〉「学習内容がわかる、理解できている」80%以上

具体目標2 児童の思考力・判断力・表現力を育てます

◆方策◆

- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、「はばたくぐんまの指導プランⅡ」等を参考に授業改善に努める。
- ・児童が自分の考えを持ち、考えを相手に分かりやすく伝えられるように、発問の工夫や、自力解決や集団交流の指導の工夫を行う。



【参考：アンケート評価目安】

〈児〉「授業で自分の考えをもったり伝え合って考えを深めたりしている」80%以上

具体目標3 児童に学習習慣を定着させます

◆方策◆

- ・「家庭学習の手引き」や「生活調べ」を活用し、家庭と連携して家庭学習の充実を図る。
- ・健康チェック日や移動図書館の機会を活用し、読書の習慣を身に付けさせる。

【参考：アンケート評価目安】

〈児・保〉「家庭学習を1日10分×学年数以上行っている」80%以上

〈児・保〉「学校や家庭で読書をしている」80%以上



具体目標4 ICTを効果的に活用した授業づくりに取り組みます

◆方策◆

- ・朝学習でICTを活用して復習させたり、教材研究でICTの活用場面を考えたりして効果的に活用する。

【参考：アンケート評価目安】

＜児＞ 「朝学習や授業でコンピュータを使って学習を進めている」80%以上



具体目標5 児童にあいさつや返事などの基本的な生活習慣を身に付けます

◆方策◆

- ・率先したあいさつ・返事と家庭や地域でのあいさつ・返事を奨励する。
- ・生徒指導委員会で学校のルールについての共通理解を図り、礼儀・規範意識を高めることを指導の重点として取り組む。
- ・朝の会でルールを確認したり、帰りの会で振り返ったりする場を設ける。
- ・道徳や学級活動、日常生活の中で社会的なルールや学校の決まりの必要性に気づかせ、児童主体の実践をさせる。

【参考：アンケート評価目安】

＜児・保・教＞ 「すすんであいさつや返事をしている」80%以上

＜児・教＞ 「社会的ルール学校の決まりを守って生活している」80%以上



具体目標6 児童の自尊感情・自己肯定感・自己有用感を高めます

◆方策◆

- ・「学年・学級経営」や「教科指導」、その他の全教育課程において、児童の「活躍する場面」や「認め合う場面」を意図的に設定する。
- ・「よいところさがしの木」の活動に全校で取り組む。
- ・通級指導や特別支援教育専門アドバイザーによる巡回相談等の活用により、特別支援の必要な児童への支援を充実させ、自尊感情を高める。

【参考：アンケート評価目安】

＜児＞ 「自分にはよいところがある」80%以上



具体目標7 児童が温かい人間関係を築けるようにします

◆方策◆

- ・児童が安心できる居場所づくりとしての温かい学級経営を進める。
- ・児童主体の全校縦割り団活動やいじめ防止活動を充実させ、いじめ防止の意識を高める。
- ・道徳、学級活動や日常的な教育活動の中で、思いやりのある行動を奨励する。
- ・スクールカウンセラーの活用により、教育相談の改善と充実を図る。
- ・日常的な観察、悩みアンケート、相談ポスト、日記等による問題の早期発見と早期対応に取り組む。

【参考：アンケート評価目安】

＜児・保・教＞ 「友達と仲良く助け合って生活している」80%以上

＜児・保＞ 「学校はいじめの予防や解消に努めている」80%以上

＜児＞ 「困っていることがあるとき、先生は相談にのってくれる」80%以上



★具体目標8～14は次号の「Part2」でお知らせします